

「中野区教育ビジョン(第3次)」の改定について

1. 趣旨

教育委員会では、教育基本法に基づく区の教育振興基本計画である教育ビジョン(第3次)を平成29年5月に策定し、「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という教育理念の実現に向けて、様々な取り組みを行ってきた。

この教育ビジョン(第3次)の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間であり、策定から概ね5年が経過することから、この間の教育を巡る状況の変化や事業の実施状況を踏まえ必要な改定を行い、今後の中野の教育のビジョンを示すこととする。

2. 改定にあたっての基本的な考え方

- (1) 国の定める教育振興基本計画、東京都教育ビジョンの内容を斟酌し、区の基本構想・基本計画及び教育大綱との整合性を図るものとする。
- (2) 教育ビジョン(第3次)で進めてきた取り組み等の評価・検証に基づき、見直しを行う。
- (3) 新型コロナウイルス感染症による影響、少子化高齢化の急速な進展や共働き世帯の増加、グローバル化やICTの進展など、子どもと家庭を取り巻く社会状況や教育環境の変化を踏まえ、教育を巡る様々な課題を示すとともに、これからの区が目指す教育理念、人物像、目標、教育の方向性等を明らかにする。

3. 改定の進め方

(1) 教育委員会での協議

教育理念をはじめ、目標や基本的な方針、現状と課題、取組の方向性などについて、様々な段階において教育委員会で協議する。

(2) 区民等の意見聴取等

- ・子ども・保護者からの意見収集
- ・小・中学校PTA連合会等関係団体及び区民との意見交換会
- ・パブリック・コメント手続

4. 今後のスケジュール

令和4年7月～	8月	現ビジョンの評価・教育の現状や課題等の分析
	//	子ども・保護者からの意見収集
	9月～11月	ビジョン素案の検討・協議
令和5年	1月	ビジョン素案に関する意見交換会
	3月	ビジョン案の作成
	4月	ビジョン案のパブリック・コメント手続
	5月	新教育ビジョンの決定